

「地域課題分野」(平成25年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
結氷河川における晶氷の発生予測と取水障害対策の開発 (研究期間：H25年～H27年)	北見工業大学 吉川 泰弘	B
<研究概要> 道北道東地域の35市町村への聞き取り調査の結果、37%にあたる13市町村に課題があることが分かった。取水施設周辺における現地観測の結果より、取水障害に至る現象を明らかにした。晶氷の発生・流下の計算モデルを開発した。本計算モデルを基に、取水障害の危険性を評価する晶氷変動量Fvを提案し、ソフト対策として提案した。		
<事後評価コメント> 結氷河川における晶氷の堆積について、現地観測の結果を用いて概ねの物理的機構を説明し、晶氷変動量を指標とする対策が提案されていることから、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと言える。 しかしながら、指標の計算に用いているモデルの各項の値について、現地で計測して、モデル個々の適応性についても確認が必要であったと考えられる。 今後は、上記を含め、現象の物理的機構について考察を深め、モデルを精緻化することによって、現象の予測に発展させるなど研究を進展させるとよい。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い